「グアムと日本を繋ぐ想い」

私とグアムの始まりは、1999 年から 2011 年まで行われましたリゾート開発から事業計画や運営管理を作る事から始まりました。レオパレスリゾート第二期工事では、ゴルフリゾートから総合スポーツリゾートへ生まれ変わるべくプロジェクトが始まったからです。
第二期工事は、野球場、サッカー場、陸上競技場、競技用プールの建設に始まり、ホテル（630 室）、ファミリープール、レストラン（7 店舗）、大宴会場、アミューズメント施設の建設という大掛かりなものでした。そんな中でも一番楽しかったのは、トレーニングジムを作る事でした。

私も 20 歳からボディビルに情熱を掛けておりましたが、海外生活が長くなるため日本国内での大会の出場を断念しなければならない事が心残りでした。しかし、海外に行ったのであれば、「大好きなボディビルでつながらなければ意味がない」「何かの形でボディビルに恩返しをしたい」と常々考えておりました。

グアムはスポーツが大変盛んであり、4 年に一度サウスパシフィックゲームが行われ、ミクロネシア諸島を含む大洋州 22 ヶ国で数々の競技が盛大に行われます。その中でもボディビルは人気の高い競技になります。また、1995 年には、IFBB ミスターユニバースが行われており、私が赴任した 1999 年頃のグアムはボディビルの全盛期を迎えた直後だったと記憶しております。アメリカからの選手も毎年増え続け、沢山の選手やアスリートとの交流を体験出来ました事は幸いでした。
私もボディビル選手として大会に出場しました。ジムではパーソナルトレーナーを行い、ボディビル若手の選手育成にも関わる事を行いました。各国のスポーツ団体や連盟と関わる仕事は楽しかった思い出です。そんな経験もあり、私は日本に戻って来てからグアムと日本をつなぐ仕事を天命と感じるようになりました。

この度、株式会社 BELLZ 代表取締役　吉田真人様の企画協力を頂き、公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟の玉利会長を始めとする役員の皆様の多大なる協力により、最もアジアから近いアメリカであるグアムにて第二回　日本・グアム親善ボディビル・フィットネス大会を迎える事ができ、大変感謝しております。このプロジェクトは私の夢でもありました。沢山の日本選手がグアム選手と交流を持ち、トレーニングやニュートリションの情報交換の場として海外交友関係が広がれば幸いでございます。日本から沢山の選手の参加を期待しております。

GNPC　日本事務局長
笠 松　博 次